

Focus

— Vol.9 —

自慢の「にんにく卵」で— 地域を活性化させたい。



長谷川 稔洋さん（60）



▲キッチンカー「鳥ハステーション」でたまごサンドなどを販売する長谷川さん夫妻＝道の駅かれん

35年間経営してきた喫茶店のオーナーから田舎暮らしへの憧れと「何か新しいことがしたい」という思いで4年前に金山に移住した長谷川稔洋さん—金山の菅田地区で古民家を丸ごと使った養鶏場「夢農園」と、ニンニクを混ぜたエサで元気に育った鶏の卵「にんにく卵」の生産を開始しました。

長谷川さんのにんにく卵は弾力のある黄身と濃厚な味が特徴で、益田清風高等学校の生徒が考案した「金福丸カステラ」には、この「にんにく卵」が使われています。また、金山の道の駅かれんでは、これまでの経験を生かし、キッチンカーでにんにく卵を使ったたまごサンドやプリンなどを販売しています。「道の駅が少しさみしい。道の駅をもっと盛り上げていきたい。」と現在もさまざまなことに挑戦中です。

ご希望の情報を受け取る
「下呂市メール配信サービス」にぜひ登録を！

緊急災害情報や防犯情報など、9つのメニューから希望の情報を選んで登録できます。

特に災害時には「防災行政無線」と同じ内容を配信しますので、放送が聞き取れなかった場合などでも、メールで内容を確認することができるので安心です。ぜひ、登録してご利用ください。



COVER — 今月の表紙 —



火災予防の啓発と防火意識の向上を図る防火パレード。かなやまこども園の園児たちが、音楽に合わせて、まといを振ったり拍子木を鳴らしながら元気に火災予防を呼び掛けました。